

新潟県温泉地等魅力向上支援事業 ● 新発田市月岡温泉字石動免遊休地活用プラン

事業の必要性

応募動機：前提

現在月岡温泉では、温泉街全体の景観整備を2014年より継続的に実施している。コンクリート塀の木塀化、空き地の緑化、看板の色の統一化など多岐に渡る箇所を温泉地の魅力向上のために、月岡温泉観光協会中心で取り組んでいる。また遊休地を公共のお客様に楽しんでもらえるコンテンツ整備にも力を入れており、足湯や源泉の杜など無料で誰でも入れるスポットを整備して、温泉街全体の観光地化を推進している段階である。そこでより多くの観光客の温泉地の魅力を感じて満足度を高めていくために、新たな魅力を創造したい。

必要性

第6回満足度調査報告書では月岡温泉は食事や買い物ではトップ5にランキングしているが、周辺の景観・雰囲気、観光・文化施設の満足度においてはランキング外となっている。個別の宿泊施設単位では総合満足度の高い施設もあるが、地域的な満足度は他の温泉地と比較して不足が見受けられる。この地域自体のコンテンツの充実、雰囲気の改善が図れば、月岡温泉自体の観光客の満足度は確実に向上するために、温泉街自体の魅力向上は不可欠と考えられる。

事業内容

概要

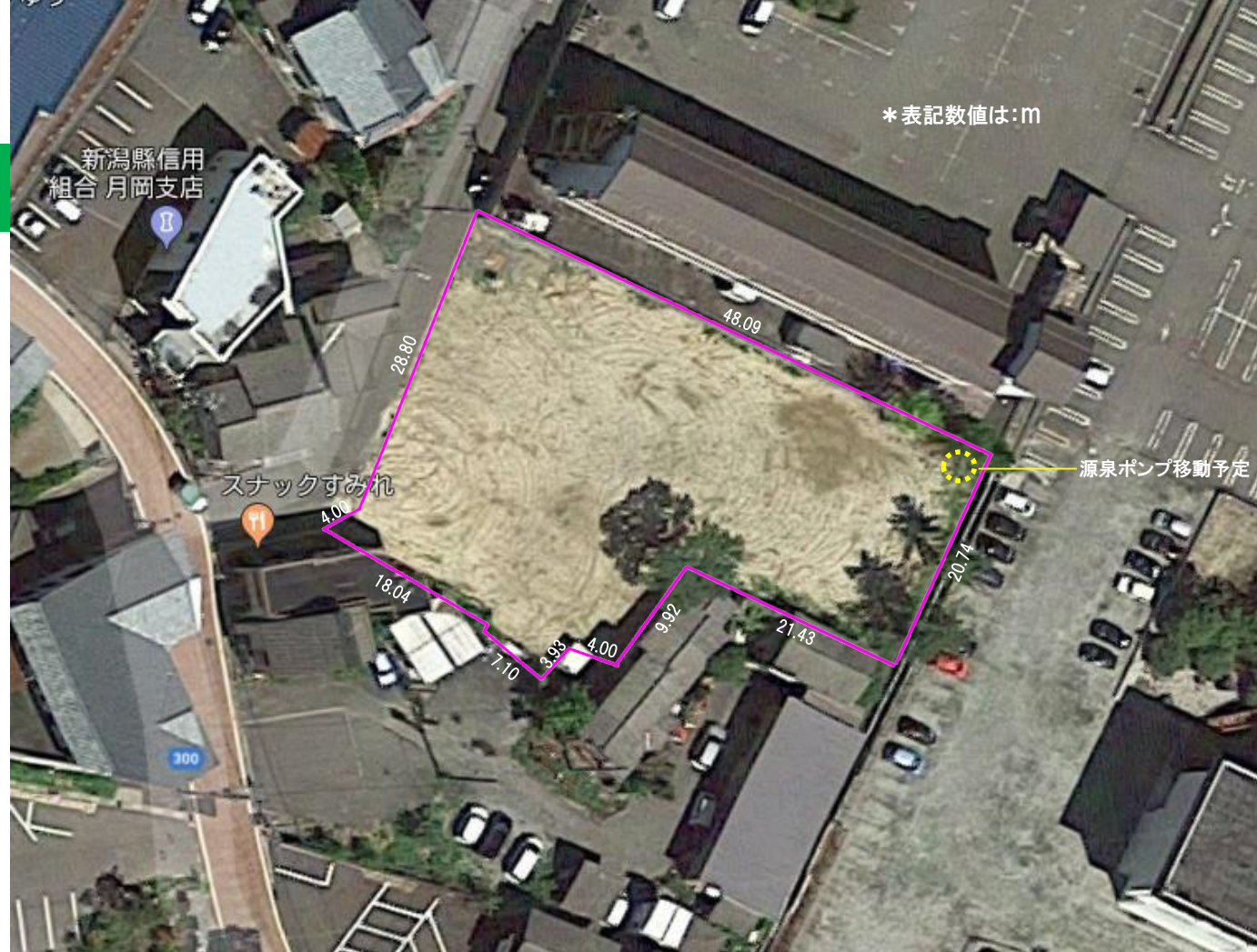
経営破たんした旅館がそのまま放置されていた土地を、地元の源泉組合が景観と安全上の問題を考えて買い取りして、建屋を解体して更地にした場所が月岡温泉の中心通りにある。その場所には温泉の分配槽を移設設置した建物を設置したが、建屋以外の敷地はそのまま更地となっており、中央通りから見たら、ただの空き地となっており、景観上非常に良くない。そこでその空き地部分に公共の誰でも入って楽しめる庭園を整備して、温泉街自体の景観向上及び雰囲気をよくしたいと考えている。その庭園整備のデザインや機能を策定するためのプランニング事業である。プランニングが完了次第、観光協会の予算で庭園を整備する予定である。（目標は2018年10月中旬オープン）

実施期間と項目

- 2018年8月28日～9月20日
- 総合企画：事業全体プランニング
- プロデュース・ディレクション：パース制作・ネーミングロゴ制作
- 4回に渡って打合せ

候補地 月岡温泉字石動免

- 月岡温泉メインストリート近隣にて
県信用組合の裏手に位置する
- 現在進行中の温泉街回遊施策の
各施設(杜・公園・店舗等)の近隣
として活用も可能である
- 各旅館から歩いて来場できる立地
- 敷地に駐車場(約15台分)も確保
することも可能
- 旧小林館の源泉ポンプ移設予定
地内でもあり、温泉の活用も可能



以下は2017年11月の現場写真(工事関係車両等は温泉内別工事の車両)



ネーミング・ロゴ・コンセプトフレーズ



新潟県の月岡温泉に新しい温泉街回遊スポットが誕生。
阿賀北の様々な風物を飾ったオブジェを愉しみながら、
昼は森の息吹を躰いっぱい浴びて心地好い寛ぎを。
宵から夜にかけては、幻想的な灯りの中で回遊する
新しい旅の体験をどうぞ。

月あかりの庭

完成イメージパース



月あかりの庭

鳥観パース

回遊庭園ゾーン

- 芝生と石砂利をベースに高木・中木・低木を植栽した庭園の中を、阿賀北各地の風物を描いた「円柱型ライト」の光の道に沿って回遊していただく趣向。
- 円柱型ライトは、昼間は絵柄を愉しむオブジェとしても。

テラスゾーン

- 公園を回遊したあと、樹々に囲まれたテラスで休憩。
- 軽い段差とテラスの周りや坪庭の植栽の中でゆっくりとした時間をお楽しみいただけます。
- 背面は自然石風裝飾壁面。その後ろに高木を植栽。

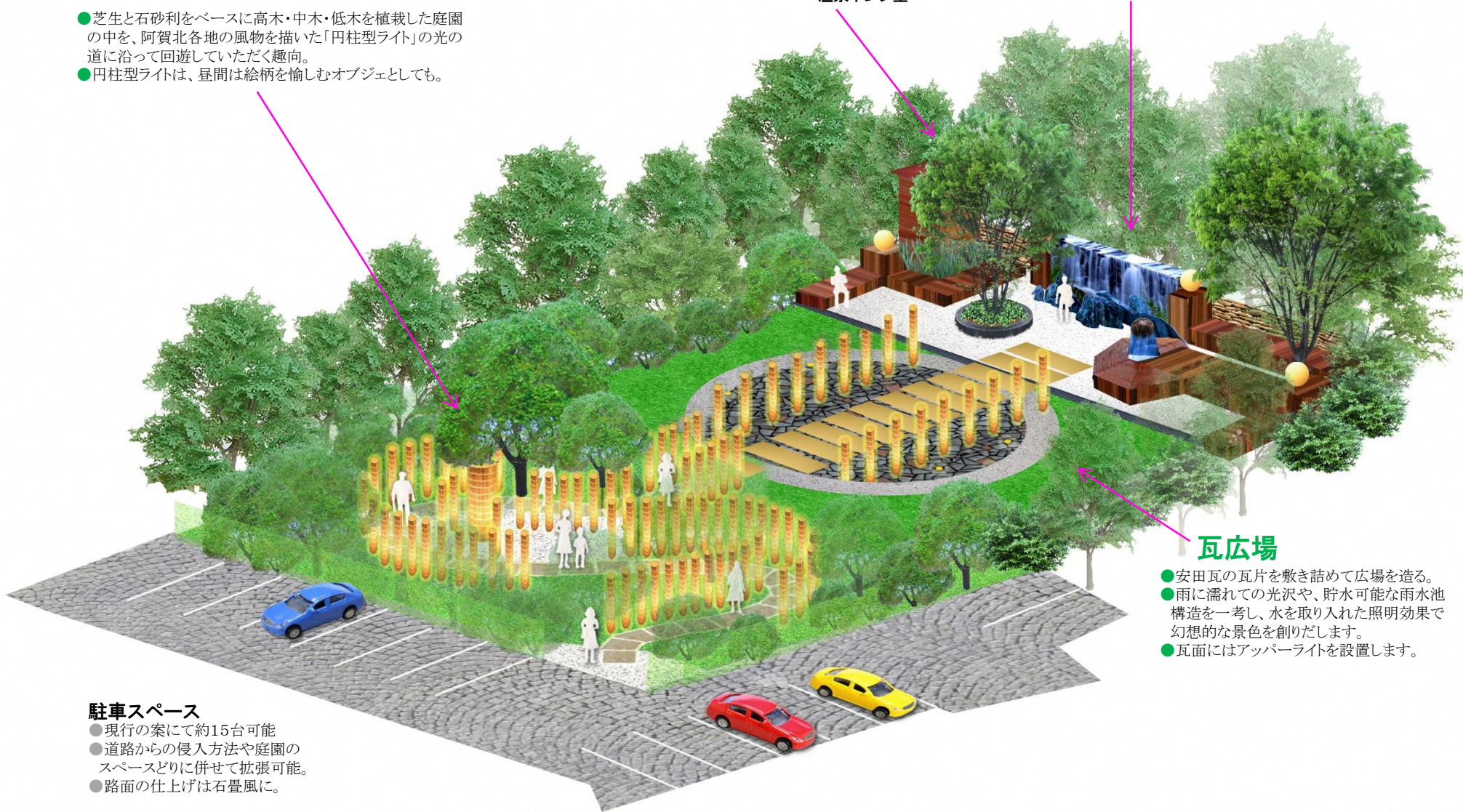
温泉ポンプ室

瓦広場

- 安田瓦の瓦片を敷き詰めて広場を造る。
- 雨に濡れての光沢や、貯水可能な雨水池構造を一考し、水を取り入れた照明効果で幻想的な景色を創りだします。
- 瓦面にはアッパーライトを設置します。

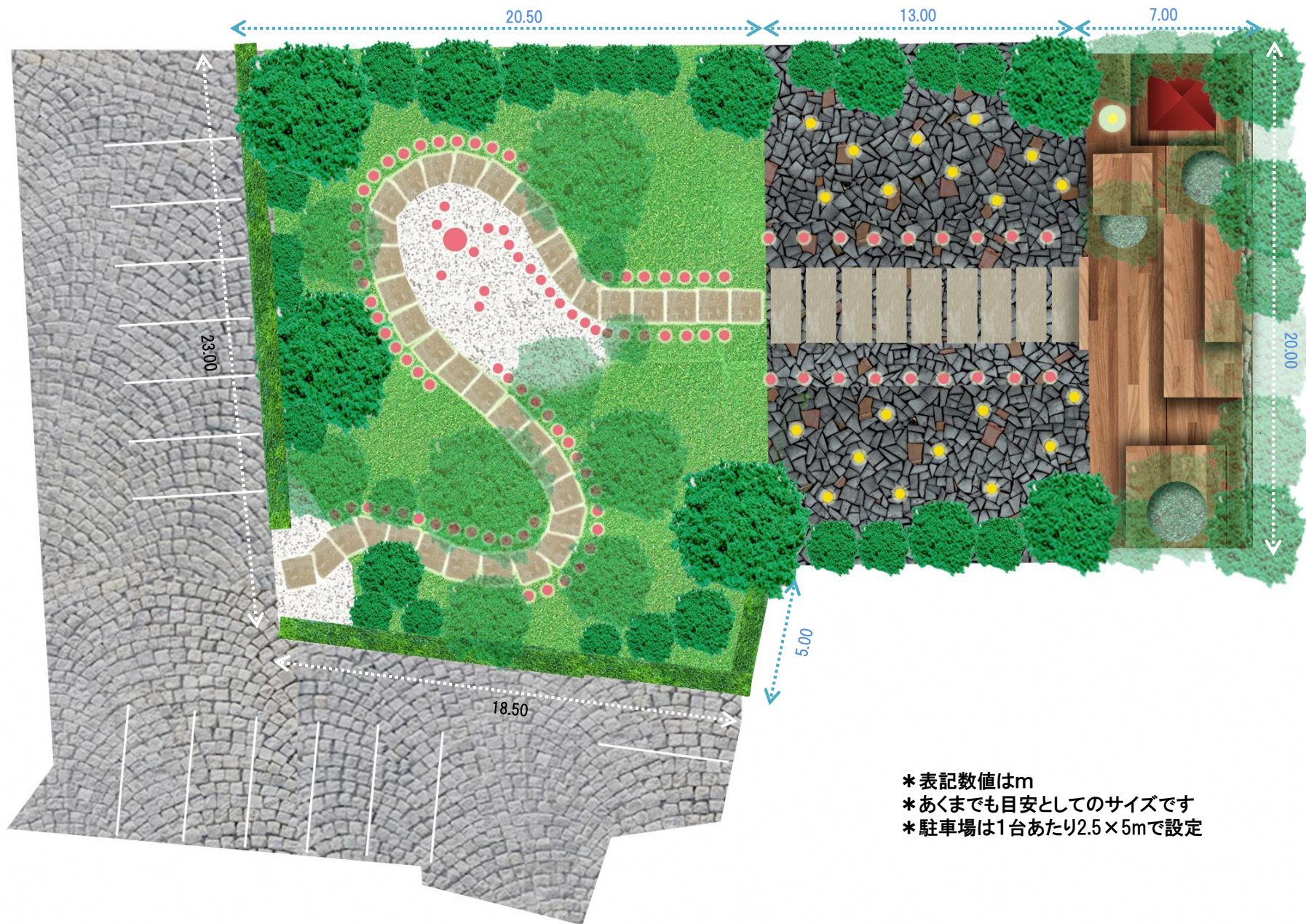
駐車スペース

- 現行の案にて約15台可能
- 道路からの侵入方法や庭園のスペースどりに併せて拡張可能。
- 路面の仕上げは石畳風に。



月あかりの庭

平面プラン



- * 表記数値はm
- * あくまでも目安としてのサイズです
- * 駐車場は1台あたり2.5×5mで設定



回遊庭園ゾーン

構成とあかりに関する考え方

- 基本は、芝生と石砂利の構成の回遊式庭園の構造。高木・中木・低樹の配置を行い、石畳を進みます。
- 回遊庭園ゾーンに設置するのは、和柄をモチーフに絵柄を作成します。
- 「灯籠」の構造は、スチール骨組にLEDライトを設置、対光プリントした布をプラスチック外装の内側に貼付。



円柱灯籠イメージ例



回遊庭園イメージ図

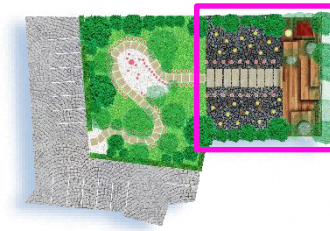


実施参考写真



実施参考写真





瓦広場・テラスゾーン

構成とあかりに関する考え方

- 構造的には、安田瓦片を敷詰めた広場に石畳と円柱灯籠(取り外し可)を配置。その先にテラスを設置。左右背面に植栽を施します。
- 瓦敷の面にはセンターに石畳通路、左右に柄灯籠、さらにその周りにアップライトを設置します。
- 瓦敷部分は貯水可能な構造(数cm程度)として、ミラー効果にて景色が映り、インスタ映えのするビジュアルなイメージを創りだします。(右上図)
- テラスのデッキは複数層となり、夜間はナチュラルな間接照明で雰囲気と安全性を確保。
- デッキ左(温泉ポンプ室隣接)には陶器(又は樹脂製)の白壺を設置。LED照明と温泉色で、緑色泉に光る。小銭を投入して金属の腐食の様子を観察するなど、泉質の訴求も期待します。(右下図)



事業目標・展望

目標

宿泊客全体の総合満足度ランキングを第6回の7位から5位以内を目標とする。現在食事4位、買い物2位となっており、そこに温泉街や周辺の景観・雰囲気
のランキングで5位以内、観光・文化施設で5位以内を実現できれば、
おのずと総合満足度5位以内が実現可能と考えられる。

展望

本事業において、庭園のコンセプトやデザインが決定されれば、そのプランを
元に実際に庭園の造園を開始する。そして温泉街に誰でも入れる憩いの場を
作ることで、温泉街全体の人々の回遊を促進できる。それにより、飲食店や
お土産屋への来店数が増加して、地域の所得向上及び雇用の促進が可能と
考えられる。また庭園照明を特徴的なものとする予定のために月岡温泉で
不足している夜の観光客の回遊を促進し、SNSなどにより情報発信を強化できる。